臺灣日日新報
（第二版）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）　昭和十四年八月三十日（水曜日）　第一万四千一百七十三號　A（一）

けふ中に組閣か
遅くも卅日中に
重大會談を開始
對獨回答を齎らし 英大使かヒ總統と
聖上陛下の御精勵
帝國の進運に御軫念
英國を支援せず
印度國民會議派決議
内閣更迭と列國
日英接近を懸念
ローマ〻界の觀測
新内閣の入閣者豫想
閣員は八名前後
速かに組閣を完了
聖旨に副ひ奉らん
多田中將は受諾困難
畑侍從武官長が有力
又も大擧重慶を空襲
小龍坎の軍事施設を粉砕

臺灣日日新報（夕刊）　八月廿九日
夕刊定価一部一錢
購讀申込受付人　佐々木貫
發行所　臺北市表町二丁目廿二番地　臺灣日日新報社
臺北市表町二丁目廿二番地（電話（代表）七五）
基隆支局　基隆市仁愛町（電話四〇）
臺中支局　臺中市宮町（電話四〇七）
臺南支局　臺南市本町（電話式〇）
花蓮港支局　花蓮港街入船町
大阪出張所　大阪市西區阿波座通壹丁目（ユタカビルヂング内）
東京支局　東京市芝區櫻田本郷町壹番地（日比谷ビル内）

新マツダ
国産の標準
マツダ

【東京二十八日發同盟】後繼内閣組織の大命を拜した阿部信行大將は二十八日午後一時半より首相官邸に閣僚、政軍關係五十名を招き、九時四十七分參上の平沼首相を内玄關に迎へ、ヘンダーソン駐獨英大使は英政府の對獨回答全文を齎し、ヘンダーソン駐英獨大使は英政府の對獨回答全文を携へ午後五時五分ヘストン飛行場出發一路ベルリンに向つた、獨閣議は獨伊側の獨逸停止を主張して獨波間の直接交渉の道を開くべきことを繰返したものと傳ぜられる、一方政府は二十九日發會を再發臨時召集することに決した

【ロンドン二十八日發同盟】最後的對獨回答を決定すべき第二次英國閣議は二十八日午後より首相官邸に開催、戰重臣會議五十分にして午後零時五十分終了した、この結果對獨回答に就いて閣僚間に全く意見の一致を見、ヘンダーソン駐英大使は英政府の對獨回答全文を携へ午後五時五分ヘストン飛行場出發一路ベルリンに向つた、獨閣議するに英國は對戰爭準備の國際停止を主張して獨波間の直接交渉の道を開くべきことを繰返したものと傳ぜられる、一方政府は二十九日發會を再發臨時召集することに決した

【ベルリン二十八日發同盟】ヘンダーソン英大使は英國の對獨回答を携へ午後八時二十二分着ベルリン着、先づクーロンドル侍從武官と會見の後十時十五分ゲーリング元帥と會見、右回答を手交し次に獨伊側戰の運命を決する重大會議は開催された

【ベルリン二十八日發同盟】ヒトラー總統、ヘンダーソン英大使の歷史的會見はリツベントロップ外相官邸の下に午後十一時四十五分まで續き、前後一時間半の長きに及び右會談の最中ゲーリング元相が首席として總統官邸に招待され、英大使にも全席を緊張させたが、和戰何れか未だ發表を許されない

【ボンベイ二十八日發同盟】獨伊の危機切迫と共に英印の態度は極めて注目に値するものであるが、去る八月九日からワルダで開催された國民會議派運用委員會（最高幹部會議）が戰爭に際しては一切英政府を支援せず同派の全力を擧げて對英ボイコットを敢行する旨を決議發表して居り、今や戰爭間

【ロンドン二十八日發同盟】英國政府が一日發表の獨ダンチヒ問題に關する白書に對し、獨逸側が如何なる反應を示すかは、英國朝野の最も關心を寄せる處であるが、二十八日の獨逸側新聞は英國白書に對し一齊に冷笑的態度を示し、獨逸側の對英感情は極めて惡化してゐる模様である、ベルリン發ロイター電によれば、獨逸側新聞は英國白書を以て獨逸の要求を全然無視したものと見做し、獨逸側の對英感情は極めて惡化してゐる模様である、ベルリン發ロイター電によれば、獨逸側新聞は英國白書を以て獨逸の要求を全然無視したものと見做し、獨逸側の對英感情は極めて惡化してゐる模様である

【ベルリン二十八日發同盟】ヒトラー總統、ヘンダーソン英大使の歷史的會見はリツベントロップ外相官邸の下に午後十一時四十五分まで續き、前後一時間半の長きに及び右會談の最中ゲーリング元相が首席として總統官邸に招待され、英大使にも全席を緊張させたが、和戰何れか未だ發表を許されない

【東京二十八日發同盟】後繼内閣組織の大命を拜した阿部信行大將は二十八日午後一時半より首相官邸に閣僚、政軍關係五十名を招き、九時四十七分參上の平沼首相を内玄關に迎へ、ヘンダーソン駐獨英大使は英政府の對獨回答全文を齎し、ヘンダーソン駐英獨大使は英政府の對獨回答全文を携へ午後五時五分ヘストン飛行場出發一路ベルリンに向つた、獨閣議するに英國は對戰爭準備の國際停止を主張して獨波間の直接交渉の道を開くべきことを繰返したものと傳ぜられる、一方政府は二十九日發會を再發臨時召集することに決した

毎月の興亞奉公日に客は酒無しの旅

辨當も廿錢以下で自粛

支那事変勃発して早くも二回年を經過した今日、東亞新秩序建設の大業完遂の前途容々多事なるに際み銃後国民総動員の聖に一層の強化を要することを感じた政府は今回昨日一日を以て全国民をして特に戰場の勞苦を想ひ、自粛自制、実際生活の上に之を具現して強力日本確設に邁進するの日たらしめたのであるが本島に於ても大いに此の趣旨を徹底せしめるため

店には休業の札
早起き勤勞奉仕

北署管内の歓楽業者

が、台北駅在ランク劇場街では本年は公式レセプションを開催を

徒協部では協定大衆の「節日」を通じて之が劃に邁進することになった。即ち毎月一日には列車食堂を始め飲食店、呼出業者が勿論一切休止せしめる外ランチ、弁当なども此の日は販売を禁じ二十錢以下のものみとすることとした。尚二九月一日から各事業所及各会社に通牒を發出して成る可く旅行する者は一人も多く銃後奉公の精神を發揮せしめる様勧奨しようと謳ふのである

【臺北特電】昨廿九日夜台北市内大衆割烹方面の料理屋、飲食店、カフエーでは九月一日興亞奉公日に際し益々大衆の戰場を偲び国民精神作興に感激あらしめるため一斉に休業し、歓明、女給を始め従業員一同はこぞって早起を励行、神社参詣に、部隊奉仕に自粛自戒の日を送る事となった

同風會の行事

【臺北特電】昨廿九日夜同風會では来る廿日から廿一日迄の両日と廿日から廿一日迄の両日の二回に亘り大稻埕公会堂に於て支那事変勃発以来戰死した陸軍軍人軍属、警察官、消防組員、警防団員等の遺族を招待し、午前十時から午後三時迄の間に慰安映画を観覧せしめ、尚ほ同会員の子弟にも観覧せしめる筈

和蘭領事館で公式レセプション取止

【臺北特電】和蘭ウイルヘルミナ女王陛下の御誕生日に際する廿一日は和蘭領事館に於て公式レセプションを取止めることとなった

四高を飛び出し士官學校に入る

同窓飯森大佐阿部大将を語る

【東京二十八日發同盟】阿部信行大将へ贈られる大命降下の二十八日夜四人会の大将部に集った祝ひの人達の中に大将今日の栄誉に心からの祝意を贈る旧友の内十指を数へる程の親密の間柄大佐飯森安二郎氏は次の如く阿部大将と同じ四高に在り同窓二十八年目満戰争の重要学業に邁進し同時に四高を飛び出し以来十星霜、郷里兵歴を共にした心の友である、以下は

【金澤二十九日發同盟】阿部大将に大命降下の報に接し

親父の祕書官は斷る

阿部大将の長子信男君の談

【大阪二十九日發同盟】非常時内閣を双肩に荷って立った新総理阿部大将の長男信男氏（二）を二十八日夜民政党西成本部の「日本一の父」を持つことになった快報を聞くと大将そっくりの顔を綻して父を讃る

子供の私からがをほめるのも變ですが非常な勉強家で遊んでばかりゐた私などとは申しから

おらが大将禮讃
歓喜に躍る金澤の市民

【金澤二十九日發同盟】阿部大将に大命降下の報に接くや二人目の総理大臣を戰時下日本に送り出すことゝあって加賀百万石の

氣遣はれた颱風も次第に大陸へ向ふ
危險を脱した北部一帶

アジンコートを北へ去る凡三〇〇キロの海上より時速二〇キロの速さで依然として北西に進路を取り勢力衰退より遅さかりつゝ大陸方面へ上陸する模様である

臺灣も内地も助かる
西村臺灣氣象臺長の談

今度の颱風に関し西村氣象台長は次の如く語る

太平洋上を南より北西方面に向け何により颱風の進路と勢力を判断するかと云ふに今非常に大きな颱風で現在一〇ミリと云ふ非常な強さの颱風を観測したのは七日午前九時頃には南洋ヤップ島より發生して以来非常な勢でぐんぐんと發達を遂行台湾に迫りつゝあった七一〇ミリの強さた颱風は台湾南部海上より北部海上二哩と乙字形に廻り紙一重の差で北部地方を避ける所であったため危機一髪の手前で台湾からそれ、且つ支那大陸方面に向け進行中である、因みに氣象台の發表によれば七一〇ミリの強さな颱風も七六ミリとたりこれが台湾を掠けてゐるとあの非常な衝撃を與へるのであるが何分七一〇ミリと云ふ非常に強な颱風であるから發表すべく二十九日午前九時頃には

獨佛の列車運轉停止
航空路も一部が休航

【パリ二十八日發同盟】パリ北停車場とベルリン間の列車運轉は二十八日停止された、更にパリ東停車場を基点とする獨佛間直通列車運轉も二十八日休止されこれに依り獨佛間の鉄道連絡は一切杜絶し

【パリ二十九日發本社特電】國際ソ聯領事館は發表時代より今日まで約四十年間二万五千四百の現代金と交換する拂戻証の地下室倉庫の地下室に二十八日領事館員立會の上厳重に封印を施した、尚ほ同館は今回の事変勃発と同時に領事館の地下室倉庫の地下室に二十八日領事館員立會の上厳重に封印を施した、尚ほ同館は今回の事変勃発と同時に領事館の地下室倉庫の地下室に二十八日領事館員立會の上厳重に封印を施した

【パリ二十八日發同盟】パリ北停車場とベルリン間の列車運轉は二十八日停止された、更にパリ東停車場を基点とする獨佛間直通列車運轉も二十八日休止されこれに依り獨佛間の鉄道連絡は一切杜絶し

函館のソ聯領事館
丸太で封鎖さる
地代を拂はぬ練れから

【函館二十九日發本社特電】函館ソ聯領事館は發表時代より今日まで約四十年間二万五千四百の現代金と交換する拂戻証の地下室倉庫の地下室に二十八日領事館員立會の上厳重に封印を施した、尚ほ同館は今回の事変勃発と同時に領事館の地下室倉庫の地下室に二十八日領事館員立會の上厳重に封印を施した

萬里橋温泉は近くデビュー

【花蓮港特電】花蓮港萬里橋温泉は林出万里橋温泉が近く開業の運びとなったが、既報の如く同温泉の経営者として一昨日来花蓮港に到着した林統一郎氏は語る

廣東の女教員隊
けさ島都入り
先づ臺灣神社に參拜

台湾教育会主催の華南視察団第一の女子一行六十七名は廿九日午前十時半着の列車で基隆に上陸、直ちに自動車で台北に入り、午後一時より市内太平町四丁目警察官舎に於て支那事変戰没将士慰霊祭及忠魂碑の祭典を挙行したが感慨深きものがあった

教育提携を誓ふ
公會堂で交驩會開く

台湾教育会主催の華南視察団第一の女子一行六十七名は廿九日午前十時半着の列車で基隆に上陸、直ちに自動車で台北に入り、午後一時より市内太平町四丁目警察官舎に於て支那事変戰没将士慰霊祭及忠魂碑の祭典を挙行したが感慨深きものがあった

戰歿勇士の慰霊祭と盂蘭盆法要

台北金同盟総裁宮では二十九日午後二時より市内太平町四丁目警察官舎に於て支那事変戰没将士慰霊祭及盂蘭盆の祭典を挙行したが感慨深きものがあった

丸刈料を値下げ

南署管内の理髪屋さん

あったが何分諸物価騰貴の時勢として十分な値下は出来ないが従来の丸刈料五十銭、二、三等店を三十銭、二等店は二十九銭に引下げ其の代り結髪の廃止で剃刀を止めてスポーツ刈にして貰ひたいと云ふので一応理的に大衆の負担の軽減を図る為めから見て大いに好感を持たれ近く実施に移される筈である

建築代願の研究會

台北州では都市計画令の施行に伴ひ二千一日即ち午前十時より基隆市役所に於て州下代議人、建築業者並に官公吏代議人約八十名の参集を求め代議人の研究協議会を開催して建築願の研究並に打合会を開催することになった

廣東の女教員隊
けさ島都入り
先づ臺灣神社に參拜

台湾教育会主催の華南視察団第一の女子一行六十七名は廿九日午前十時半着の列車で基隆に上陸、直ちに自動車で台北に入り、午後一時より市内太平町四丁目警察官舎に於て支那事変戰没将士慰霊祭及忠魂碑の祭典を挙行したが感慨深きものがあった

教育提携を誓ふ
公會堂で交驩會開く

台湾教育会主催の華南視察団第一の女子一行六十七名は廿九日午前十時半着の列車で基隆に上陸、直ちに自動車で台北に入り、午後一時より市内太平町四丁目警察官舎に於て支那事変戰没将士慰霊祭及忠魂碑の祭典を挙行したが感慨深きものがあった

戰歿勇士の慰霊祭と盂蘭盆法要

台北金同盟総裁宮では二十九日午後二時より市内太平町四丁目警察官舎に於て支那事変戰没将士慰霊祭及盂蘭盆の祭典を挙行したが感慨深きものがあった

何時で

講談本ばかり読んでゐる筈にならんそこと思ひ当ると「ああに、講談本等読んで感心のある奴は碌なものにはならん」と叱ってゐた佐世保鎮守府第二兵隊に居た国隊長に貰ひ込まれて「娘を嫁に貰ってくれ」と言ひ込まれたがあつさり断つたと云ふ話も残ってゐるつまり将来偉くなつてもそのおかげだなんて思はれるのは厭だと云ふ意気だったんだなあ兎角言ふと自慢と人に誤解され何時の間にか人の長になると云ふ性格だった

親父の祕書官は斷る

阿部大将の長子信男君の談

【大阪二十九日發同盟】非常時内閣を双肩に荷って立った新総理阿部大将の長男信男氏（二）を二十八日夜民政党西成本部の「日本一の父」を持つことになった快報を聞くと大将そっくりの顔を綻して父を讃る

子供の私からがをほめるのも變ですが非常な勉強家で遊んでばかりゐた私などとは申しから

おらが大将禮讃
歓喜に躍る金澤の市民

【金澤二十九日發同盟】阿部大将に大命降下の報に接くや二人目の総理大臣を戰時下日本に送り出すことゝあって加賀百万石の

氣遣はれた颱風も次第に大陸へ向ふ
危險を脱した北部一帶

アジンコートを北へ去る凡三〇〇キロの海上より時速二〇キロの速さで依然として北西に進路を取り勢力衰退より遅さかりつゝ大陸方面へ上陸する模様である

臺灣も内地も助かる
西村臺灣氣象臺長の談

今度の颱風に関し西村氣象台長は次の如く語る

太平洋上を南より北西方面に向け何により颱風の進路と勢力を判断するかと云ふに今非常に大きな颱風で現在一〇ミリと云ふ非常な強さの颱風を観測したのは七日午前九時頃には南洋ヤップ島より發生して以来非常な勢でぐんぐんと發達を遂行台湾に迫りつゝあった七一〇ミリの強さた颱風は台湾南部海上より北部海上二哩と乙字形に廻り紙一重の差で北部地方を避ける所であったため危機一髪の手前で台湾からそれ、且つ支那大陸方面に向け進行中である、因みに氣象台の發表によれば七一〇ミリの強さな颱風も七六ミリとたりこれが台湾を掠けてゐるとあの非常な衝撃を與へるのであるが何分七一〇ミリと云ふ非常に強な颱風であるから發表すべく二十九日午前九時頃には

獨佛の列車運轉停止
航空路も一部が休航

【パリ二十八日發同盟】パリ北停車場とベルリン間の列車運轉は二十八日停止された、更にパリ東停車場を基点とする獨佛間直通列車運轉も二十八日休止されこれに依り獨佛間の鉄道連絡は一切杜絶し

函館のソ聯領事館
丸太で封鎖さる
地代を拂はぬ練れから

【函館二十九日發本社特電】函館ソ聯領事館は發表時代より今日まで約四十年間二万五千四百の現代金と交換する拂戻証の地下室倉庫の地下室に二十八日領事館員立會の上厳重に封印を施した、尚ほ同館は今回の事変勃発と同時に領事館の地下室倉庫の地下室に二十八日領事館員立會の上厳重に封印を施した

萬里橋温泉は近くデビュー

【花蓮港特電】花蓮港萬里橋温泉は林出万里橋温泉が近く開業の運びとなったが、既報の如く同温泉の経営者として一昨日来花蓮港に到着した林統一郎氏は語る

廣東の女教員隊
けさ島都入り
先づ臺灣神社に參拜

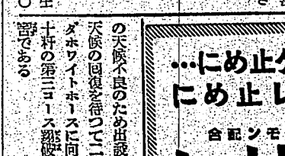
台湾教育会主催の華南視察団第一の女子一行六十七名は廿九日午前十時半着の列車で基隆に上陸、直ちに自動車で台北に入り、午後一時より市内太平町四丁目警察官舎に於て支那事変戰没将士慰霊祭及忠魂碑の祭典を挙行したが感慨深きものがあった

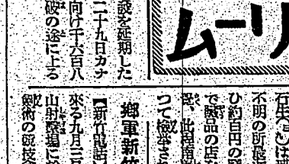
教育提携を誓ふ
公會堂で交驩會開く

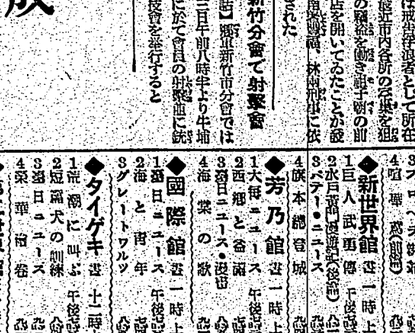
台湾教育会主催の華南視察団第一の女子一行六十七名は廿九日午前十時半着の列車で基隆に上陸、直ちに自動車で台北に入り、午後一時より市内太平町四丁目警察官舎に於て支那事変戰没将士慰霊祭及忠魂碑の祭典を挙行したが感慨深きものがあった

戰歿勇士の慰霊祭と盂蘭盆法要

台北金同盟総裁宮では二十九日午後二時より市内太平町四丁目警察官舎に於て支那事変戰没将士慰霊祭及盂蘭盆の祭典を挙行したが感慨深きものがあった







性の惱む都會の女性

難理生

策多くして策に倒れる

治療難は純單の無知なら

治療を挫折させる
生半可の當て推量は
捨ててかかればよい

發明婦人病療法

◇醫學の發達した今日、世界各國の學者により、數千萬圓の金と、數十年の歳月を費して研究された婦人病の治療法が、日本の或る學者の發明によつて、僅か數日間で、從來の治療法の數十倍の效果を擧げ得る事が實證されました。

◇この發明は、從來の治療法の缺點を全く除き、患者の苦痛を與へず、しかも根治に導くもので、醫學界は勿論、一般婦人界に多大の福音を與へるものとして、驚異の眼を以て迎へられました。

◇この發明は、從來の治療法の缺點を全く除き、患者の苦痛を與へず、しかも根治に導くもので、醫學界は勿論、一般婦人界に多大の福音を與へるものとして、驚異の眼を以て迎へられました。

◇この發明は、從來の治療法の缺點を全く除き、患者の苦痛を與へず、しかも根治に導くもので、醫學界は勿論、一般婦人界に多大の福音を與へるものとして、驚異の眼を以て迎へられました。

實例が證す治療の價値

もうもう絶對です

[illegible]

[illegible]

[illegible]

情熱の飛沫

高見順作　田代光畫　(99)

「おんなだ、ずゐぶんいばるぢゃないか」

一昨日の晩遅く、ぼくのところへ電話がかゝつてきた。

「なぐつてやつたんだ、なぐつてやつたんだ」

と、佐田はさうくりかへしてゐるのだ。久保子と二人のところを、どこかで見られたかと、ぎつぱりくるしくなる自分としては、やましくないしかし、相手に、電話にしろつてこいの權幕を聞かされたときにはチエツと口惜しい。

「殴つてやつたつて、君、殴つたつて、それぢやあ、まるで喧嘩が大好きな男ぢやないか。それぢやあ

（第二種郵便物認可）　昭和十四年八月三十日　（水曜日）　臺灣日日新報社　第一万四千一百七十三號　（一）

臺灣日日新報

本日夕刊共十二頁

社說

團體郵便年金制の本島實施

産業従事者老後の生活保障

一

本島では昭和十年十月一日から内地に於ける團體郵便年金制度に準じ、之れが實施を見ることになつたのであるが、内地に於ては昭和十二年度末の加入團體數が四十二万餘、其の年金受取人數が二十三万四十八名に達して居るのに、本島に於ては昭和十四年度末に於ても僅に六百十八件、年金受取人數が二十二名に過ぎないのである。勿論本島の年金制度の實施が内地に比して遅れて居るといふ事情もあるが、然しそれにしても餘りに少ない數字である。

二

團體郵便年金制度に對しては、内地に於ても「自分の團體は加入しなくても宜い」といふ考へ方をする者が多いのであるが、之れは全く誤つた考へ方である。團體の年金制度は、その團體に所屬する個人の福祉を増進するといふ點に於ても、又團體自體の福祉を増進するといふ點に於ても、共に大いに役立つものであるから、團體に於ては出來るだけ多數の人を加入せしめ、又團體自體も加入するやうに努めなければならない。

三

團體郵便年金制度は、内地に於ては昭和十二年度末に於ける加入團體數が四十二万餘、其の年金受取人數が二十三万四十八名に達して居るのに、本島に於ては昭和十四年度末に於ても僅に六百十八件、年金受取人數が二十二名に過ぎないのである。勿論本島の年金制度の實施が内地に比して遅れて居るといふ事情もあるが、然しそれにしても餘りに少ない數字である。

四

團體郵便年金制度は、内地に於ては團體の經營者と團體の構成員とが共同して掛金を拂ひ込むのであるが、唯一人として掛金を拂ひ込まなくても宜いのであるが、團體年金受取人の中には掛金を拂ひ込まなくても宜いのであるから、團體に於ては出來るだけ多數の人を加入せしめ、又團體自體も加入するやうに努めなければならない。

五

團體郵便年金制度は、内地に於ては團體の經營者と團體の構成員とが共同して掛金を拂ひ込むのであるが、唯一人として掛金を拂ひ込まなくても宜いのであるから、團體に於ては出來るだけ多數の人を加入せしめ、又團體自體も加入するやうに努めなければならない。

組閣工作進展す

けふ午後親任式擧行？

決定した閣僚

【東京二十九日發同盟至急報】阿部新内閣に現在入閣と決定、又は入閣を豫想されてゐる顔觸れ左の如し

首相　阿部信行
外相　首相兼攝
外相は近く重光葵氏が就任される模様
内相　元法相　小原直（決定）
藏相　企畫院總裁　青木一男（決定）
陸相　侍從武官長　陸軍大將　畑俊六（決定）
海相　海軍中將　吉田善吾（決定）
法相　名古屋控訴院檢事長　宮城長五郎（決定）
文相　元内相　河原田稼吉（決定）
農相　商相　元商相　伍堂卓雄（決定）
拓相　兼議院副議長　金光庸夫（決定）

決定した新閣僚（中央の組閣當時に於ける小原内相、時計廻り、畑陸相、吉田海相、宮城法相、伍堂商相、青木藏相、金光拓相、河原田文相）

貴族院二名　政民各一名

新内閣へ要望する　近衛聲明の原則

中部日報の今次政變觀

【東京二十九日發同盟】

企畫院總裁兼務の　藏相に意義重大

【東京二十九日發同盟】

政黨側閣僚は　三十日に入閣決定

【東京二十九日發同盟】

厚相、小原内相兼任決定

内閣書記官長　遠藤柳作（有力）

法制局長官　唐澤俊樹（決定）

企畫院總裁　青木藏相兼任決定

發表された全貌　獨ソ新通商協定細目

獨首腦部重大協議

中立確保に關し　ベルギー政府重要聲明

世界平和の爲に　ローマ教王動く

興蒙民衆大會で　蒙疆中央政權樹立を促進

法幣顚落を續く　更に新安値を示現せん

選擧對策打合せ　内務部長、鹽原務課長を招致

海鷲か空爆　廣西省の奥地を

英の對獨回答を　愼重に檢討して決斷

四圍の情勢惡化に　ヒ總統たじろぐ

だが未だ樂觀を許さず

二十六時間内に　獨は決勝と豪語

獨領東プロシヤ　動員兵力七十萬

パリの戰爭　準備

波蘭大使佛首相を訪問

佛の煽動　日佛間の懸案解決を目出つ

英船に歸航命

石丸藤太著　第二世界戰爭の勝敗

第一部歐洲大戰の巻

出た!!　恐英病患者一掃の書!!

刻々迫る歐洲戰爭、世界戰爭の全貌は本書によつて明かにされた!!

本書こそは、最も科學的に世界的日本の地位を明示したる金字塔である!!

ナチス獨逸を動かす人々
日本大學教授　百々巳之助著
四六判上製　本文二百五十頁　價一・五〇　送・一四

興亞一路
亞細亞の興隆は皇民一億の待望であり、亞の盛同は其の第一歩踏出である。やゝ大に出しくその實を挙げんとする今日、此の興亞の第一歩に關して、その國策的意義、その實踐的方法を説いたものは本書を措いて他にない。
井上雅二著　四六判上製三百餘頁　定價一・〇〇　送・一四

尾高鮮之助印度日記
エドワード・シュプランガー著
土井竹治譯　青年の心理　新訂四三八頁　再版・三三
シャハト著　防共ナチスの經濟政策　四・一〇　送・二四
景山哲夫譯

相談に現れたる　子供の問題
霜田靜志著　四六判三五〇頁　價一・五〇　送・一四

史學文學叢書
田中秀央・黒田正利共著　菊版横組七五〇頁・價六圓八十錢・錢二十二錢

東京市神田區駿河臺三ノ六　振替東京七三一一八　電話神田三二七一・三一八九　刀江書院

電力建設も進捗
大甲溪開發計畫は調査中
（中）　臺電總裁席上　加藤社長の演述

世界の金融中心は
倫敦を離れて紐育へ

各國債は一齊安
日本債のみ獨歩高
―ニューヨーク株式市況―

新内閣への希望

新藏相に好感
經濟界の期待は大

八月積の延期
内地側は拒絶
移出米商は苦境に立つ

米管による
買入實施計畫

灣茶の對滿輸出
割當變更を要望

ロイドの
戰時保險料
夫々大幅引上げ

上海海關の稅收
華與券を本位とす

溪湖の
買蕉價格
地區別に植付奬勵金を與ふ

島内消費米の
價格をも統制

正米市場でも
五等米を代用

島内消費米の
規正方法

濠洲政府も
嚴重爲替管理

瑞典貨も
磅を離脫か

芽蘭銀行
磅リンクを廢棄

和蘭銀行利上

阿部大將を歡迎
手堅い場味を呈す

臺灣電力株式會社
社債還償

社債還償の通知
臺灣電力株式會社
1 第二十回社債
2 昭和十四年九月一日
3 臺灣電力株式會社　臺北市
4 臺北市
臺灣電力株式會社

間諜疑て死んだ陳美儀を偲ぶ

遺兒もまた母郷為の地に

（三）

笠井榮

△大陸に於て大いに活躍したものゝ中には悲しい最期をとげたものも少なくない。彼等の多くは敵の銃丸に斃れ、敵の爆彈に吹き飛ばされ、敵の毒牙にかゝつて死んだのであるが、中には味方の手によつて殺されたものもある。それは敵の間諜と疑はれたものゝ場合である。

△大陸に於ける敵の間諜は、大抵は支那人であるが、中には日本人の場合もあつた。それは日本人の方が敵に近づき易いからである。

△今こゝに述べようとするのは、陳美儀といふ女間諜の場合である。

△陳美儀は、大正十年頃、十七歳の時、日本に留學して、東京の女子學院に入つた。

△彼女は、大正十四年に、日本人の青年と結婚して、一男一女を儲けた。

△今年五月、大陸に於ける日本軍の作戰が、いよいよ重大な段階に入つた頃、陳美儀は、突然、日本軍の手によつて、間諜の嫌疑で逮捕された。

△陳美儀は、大陸に於ける日本軍の作戰に關する重要な情報を、敵側に通報したといふのである。

△陳美儀は、日本軍の手によつて、嚴重な取調べを受けた

空に残れる (99)

尾崎士郎作

高木清畫

道はるかなり（一）

信作は会社に呼つかれなかつた。着い紙の帳面につまれて郷部の家に居てる自分が、「青葉館アパート」の郵便箱にくるまつてゐる夢の自分であらうか？

自然自然の教情で、現在の日の目を見ない生活をたき捨り前の郷野に生き場所と自由と死に場所を求めようと思つたことは屢度あつたか知れない。しかしそのが、それ以上のものが現実に形をとつて現れたとなると、自然自然と信念とが紙一重の差でしかなくなつてくるのである。

信作は煙草を消した部屋の天井を睨めながら大きく呼吸をした。今さら躊躇の間で郷部と絶した言葉の二つ三つが輝くやうに闇の中にうかびあがつてくる。

——郷部はウイスキイをたらした紅茶を信作にすすめながら、「よし、君の言ふとほりぢやや。日本の智識が海外に発展するためには結局アメリカを足場にせんけれならない。その地盤、郷入ひとにはどうしてもアメリカへ本拠を定めなければならないのだ。君はどう思ふ？」

郷部自身は満足そうに生のウイスキイを飲めるやうに飲みながら酸度もひとりでうなづいた。

話といふのは、まつたく息ひがけなかつた。郷部が今度アメリカの風景旅行に出掛けるのに信作を同行するといふことからはじまり、桑港か紐育に調査所を新設し、そこに信作を駐在させるといふことになつたのである。

信作は自分の言葉がそんなに強く郷部を動かしたのかと思ふと、かへつて心のゆとりがなくなつてゆくやうな気がした。

自信のない仕事といふものは、自信のない仕事になつてしまつたのではあるまいか？

「お疲ぎさせて頂くのは大変に有難いお話のやうですが——何だか身の程知らずのやうで」

「そんな自信のないことでどうする」

郷部は自分の言葉に満足したらしく盃を持つて突ひながら、またウイスキイをためるやうに飲んだ。

信作は、男の心意気といふ言葉を胸ほひ深く感じながら、

「ありがたう、直ぐ帰れ、と電報うたれなくてもよいやうにしつかりやります」

盃を飲つて来た。

「自信がないといふわけではありませんが、万一御自仕に背くやうなことを考へると、むしろ御一緒に暗き上げて頂く方が仕事になるやうな気がするんです」

「そんな事は何でもない。君の成績が上らなきや何時でも呼びもどしてわしが教育してやる。力のある限りやつてみるといふのが、男の心意気ぢやらうが？」

郷部は自分の言葉に満足したらしく盃を持つて突ひながら、またウイスキイをためるやうに飲んだ。

信作は、男の心意気といふ言葉を胸ほひ深く感じながら、

「ありがたう、直ぐ帰れ、と電報うたれなくてもよいやうにしつかりやります」

盃を飲つて来た。

「さし、それで万事決つたといふもんぢや」

こう言つてから郷部は盃に声をひそめた。

「——時に君ほど、何か東京で片附けなきやならんことはないかね？」

「片附けると言ひますと——？」

「いや、たいした事ぢやないが、女（げな女の事か何んとか」

「ありません」

きつぱりと言ひ切つて信作は顔を上げた。

（——本当に自分には何もないのだらうか？）

信作はウイスキイの盃をなほてりに汗ばんだ額を濡の中で拭々ときせながら呟いた。すると夢のやうに、色のない伊佐子の姿が泛び上つてきた。

（つづく）

七一五ミリの颱風

もの凄い速度と風壓

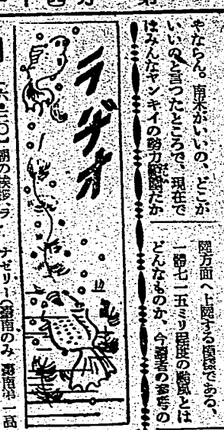
二百十日前後の氣象

天候とでも云ふべきか、突然に來襲せんとした七一五ミリ程度の颱風は、幸ひずつと北進して朝鮮より遠ざかり更にその進路を北西に轉じて大陸方面へ上陸する模様である。一部七一五ミリ程度の颱風とはどんなものか、今迄著者の參考のため、その氣象を調べてみた。

たゞ、二百十日前後の氣象解説を掲げるまゝ〳〵の狀態を觀察の至に伴かべる點と、實際の狀態を八月ボにになると日毎にその影ひそめて海には十用波が絶えまつてくるこの十用波こそ、「二百十日への招狀」といふ意に有難くない招じ召とみてよい、二百十日——即ち分から數へて二百十日の九月二日（本年）をどうして颱風の要注日ときめたか、その點には絶對の新しい

×

二百數十年前（貞享年間）德川五代將軍綱吉の頃に駿府の屋敷安井春徹が大狀の声も聞いて、そろそろ颱風の立つた或る日、ふと思ひ立つて、筆を肩に品川へと約に出かけた、なこの船宿をたいて、江戸へ漕ぎ出でたが、うねりが高く一向に魚が釣れない、「今日といふ日はまた何とした事ぢやい」と春徹が腹立ち紛しでゐると、これを聞いた船頭がふり返つて「今日の漁は無益の御狀況、本日は御分から一里二百十日に御座りまするは必定、早々御中止、御引上げになつては……それ見や海に氣味な黒雲が參ります」と時の天文台長気象台長非春徹が、一艘船に、すつかり驚かされて引き下つたが「聞きすれば大風の參りまするは必定、早々御中止、御引上げになつては……それ見や海に氣味な黒雲が參ります」と時の天文台長気象台長非春徹が、一艘船に、すつかり驚かされて引き下つたが「聞きすれば大風の參りまするは必定、早々御中止、御引上げになつては……それ見や海に氣味な黒雲が參ります」と時の天文台長気象台長非春徹が、一艘船に、すつかり驚かされて引き下つたが「聞き



ラヂオ

朝
【六・三〇】朝の挨拶（ラヂオ體操・朝の音樂レコード）ナニヲ當番：フェルデシー、カロ・ミオ・ベン（ジョルダーニ作曲）オルガン獨奏：シムメルフェニイヒ、私の大臨よカプア作曲）管絃樂：ヘルマン・フオンシュタコ管絃樂團ラ・ベロマ（ライデイエル作曲）【七・〇〇】朝の經濟（京都）【七・一〇】上人の信仰（二大信の第二部）川端龍子
【七・三〇】ユトベの講座（第十講）（續完）國語教育上の諸問題小林澄兄
【八・〇〇】ニュース
【九・四五】家庭百科問答（東北）（すゞ化粧水の作り方）
【一〇・〇〇】幼兒の時間（東北）やさしい繪の描き方：後藤宣美
【一〇・一五】家庭婦人（東北）（續）（東北）家庭女學校校長石橋孝次郎、部員のスタッド・ミンチ（ニイハ）林檎フレンチサラダ（ニイハ）ナセリ（ニ人前）のみ　番號第一話
【一一・〇〇】婦人時間（東北）學校中村春次郎
【一一・一〇】時間信號ニュース
【一一・一五】正午の時報（東京）公示（東北）知事報告（各局）
【〇・一〇】放送局報告（東京）
【〇・一〇】我國對外貿易の狀勢　村上義温
【〇・一〇】我國對外貿易の狀勢　村上義温
【一・一〇】ラヂオ體操
【一・四〇】ニュース
【二・〇〇】ニュース
【二・一〇】福島中ニュース
【二・二〇】福島中ニュース
【四・〇〇】家庭生活相談（東北）
【四・三〇】ニュース（東北）
【五・〇〇】ニュース（東北）
【五・一〇】ニュース（東北）
【五・二〇】ニュース（東北）
【五・三〇】ニュース（東北）
【六・〇〇】ニュース（東北）
【六・一〇】ニュース（東北）
【六・二〇】ニュース（東北）
【六・三〇】ニュース（東北）
【六・四〇】ニュース（東北）
【六・五〇】ニュース（東北）
【七・〇〇】ニュース（東北）
【七・一〇】ニュース（東北）
【七・二〇】ニュース（東北）
【七・三〇】ニュース（東北）
【七・四〇】ニュース（東北）
【七・五〇】ニュース（東北）
【八・〇〇】ニュース（東北）
【八・一〇】ニュース（東北）
【八・二〇】ニュース（東北）
【八・三〇】ニュース（東北）
【八・四〇】ニュース（東北）
【八・五〇】ニュース（東北）
【九・〇〇】ニュース（東北）
【九・一〇】ニュース（東北）
【九・二〇】ニュース（東北）
【九・三〇】ニュース（東北）
【九・四〇】ニュース（東北）
【九・五〇】ニュース（東北）
【一〇・〇〇】ニュース（東北）
【一〇・一〇】ニュース（東北）
【一〇・二〇】ニュース（東北）
【一〇・三〇】ニュース（東北）
【一〇・四〇】ニュース（東北）
【一〇・五〇】ニュース（東北）
【一一・〇〇】ニュース（東北）
【一一・一〇】ニュース（東北）
【一一・二〇】ニュース（東北）
【一一・三〇】ニュース（東北）
【一一・四〇】ニュース（東北）
【一一・五〇】ニュース（東北）
【一二・〇〇】ニュース（東北）
【一二・一〇】ニュース（東北）
【一二・二〇】ニュース（東北）
【一二・三〇】ニュース（東北）
【一二・四〇】ニュース（東北）
【一二・五〇】ニュース（東北）
【一三・〇〇】ニュース（東北）
【一三・一〇】ニュース（東北）
【一三・二〇】ニュース（東北）
【一三・三〇】ニュース（東北）
【一三・四〇】ニュース（東北）
【一三・五〇】ニュース（東北）
【一四・〇〇】ニュース（東北）
【一四・一〇】ニュース（東北）
【一四・二〇】ニュース（東北）
【一四・三〇】ニュース（東北）
【一四・四〇】ニュース（東北）
【一四・五〇】ニュース（東北）
【一五・〇〇】ニュース（東北）
【一五・一〇】ニュース（東北）
【一五・二〇】ニュース（東北）
【一五・三〇】ニュース（東北）
【一五・四〇】ニュース（東北）
【一五・五〇】ニュース（東北）
【一六・〇〇】ニュース（東北）
【一六・一〇】ニュース（東北）
【一六・二〇】ニュース（東北）
【一六・三〇】ニュース（東北）
【一六・四〇】ニュース（東北）
【一六・五〇】ニュース（東北）
【一七・〇〇】ニュース（東北）
【一七・一〇】ニュース（東北）
【一七・二〇】ニュース（東北）
【一七・三〇】ニュース（東北）
【一七・四〇】ニュース（東北）
【一七・五〇】ニュース（東北）
【一八・〇〇】ニュース（東北）
【一八・一〇】ニュース（東北）
【一八・二〇】ニュース（東北）
【一八・三〇】ニュース（東北）
【一八・四〇】ニュース（東北）
【一八・五〇】ニュース（東北）
【一九・〇〇】ニュース（東北）
【一九・一〇】ニュース（東北）
【一九・二〇】ニュース（東北）
【一九・三〇】ニュース（東北）
【一九・四〇】ニュース（東北）
【一九・五〇】ニュース（東北）
【二〇・〇〇】ニュース（東北）
【二〇・一〇】ニュース（東北）
【二〇・二〇】ニュース（東北）
【二〇・三〇】ニュース（東北）
【二〇・四〇】ニュース（東北）
【二〇・五〇】ニュース（東北）
【二一・〇〇】ニュース（東北）
【二一・一〇】ニュース（東北）
【二一・二〇】ニュース（東北）
【二一・三〇】ニュース（東北）
【二一・四〇】ニュース（東北）
【二一・五〇】ニュース（東北）
【二二・〇〇】ニュース（東北）
【二二・一〇】ニュース（東北）
【二二・二〇】ニュース（東北）
【二二・三〇】ニュース（東北）
【二二・四〇】ニュース（東北）
【二二・五〇】ニュース（東北）
【二三・〇〇】ニュース（東北）
【二三・一〇】ニュース（東北）
【二三・二〇】ニュース（東北）
【二三・三〇】ニュース（東北）
【二三・四〇】ニュース（東北）
【二三・五〇】ニュース（東北）
【二四・〇〇】ニュース（東北）
【二四・一〇】ニュース（東北）
【二四・二〇】ニュース（東北）
【二四・三〇】ニュース（東北）
【二四・四〇】ニュース（東北）
【二四・五〇】ニュース（東北）
【二五・〇〇】ニュース（東北）
【二五・一〇】ニュース（東北）
【二五・二〇】ニュース（東北）
【二五・三〇】ニュース（東北）
【二五・四〇】ニュース（東北）
【二五・五〇】ニュース（東北）
【二六・〇〇】ニュース（東北）
【二六・一〇】ニュース（東北）
【二六・二〇】ニュース（東北）
【二六・三〇】ニュース（東北）
【二六・四〇】ニュース（東北）
【二六・五〇】ニュース（東北）
【二七・〇〇】ニュース（東北）
【二七・一〇】ニュース（東北）
【二七・二〇】ニュース（東北）
【二七・三〇】ニュース（東北）
【二七・四〇】ニュース（東北）
【二七・五〇】ニュース（東北）
【二八・〇〇】ニュース（東北）
【二八・一〇】ニュース（東北）
【二八・二〇】ニュース（東北）
【二八・三〇】ニュース（東北）
【二八・四〇】ニュース（東北）
【二八・五〇】ニュース（東北）
【二九・〇〇】ニュース（東北）
【二九・一〇】ニュース（東北）
【二九・二〇】ニュース（東北）
【二九・三〇】ニュース（東北）
【二九・四〇】ニュース（東北）
【二九・五〇】ニュース（東北）
【三〇・〇〇】ニュース（東北）
【三〇・一〇】ニュース（東北）
【三〇・二〇】ニュース（東北）
【三〇・三〇】ニュース（東北）
【三〇・四〇】ニュース（東北）
【三〇・五〇】ニュース（東北）
【三一・〇〇】ニュース（東北）
【三一・一〇】ニュース（東北）
【三一・二〇】ニュース（東北）
【三一・三〇】ニュース（東北）
【三一・四〇】ニュース（東北）
【三一・五〇】ニュース（東北）
【三二・〇〇】ニュース（東北）
【三二・一〇】ニュース（東北）
【三二・二〇】ニュース（東北）
【三二・三〇】ニュース（東北）
【三二・四〇】ニュース（東北）
【三二・五〇】ニュース（東北）
【三三・〇〇】ニュース（東北）
【三三・一〇】ニュース（東北）
【三三・二〇】ニュース（東北）
【三三・三〇】ニュース（東北）
【三三・四〇】ニュース（東北）
【三三・五〇】ニュース（東北）
【三四・〇〇】ニュース（東北）
【三四・一〇】ニュース（東北）
【三四・二〇】ニュース（東北）
【三四・三〇】ニュース（東北）
【三四・四〇】ニュース（東北）
【三四・五〇】ニュース（東北）
【三五・〇〇】ニュース（東北）
【三五・一〇】ニュース（東北）
【三五・二〇】ニュース（東北）
【三五・三〇】ニュース（東北）
【三五・四〇】ニュース（東北）
【三五・五〇】ニュース（東北）
【三六・〇〇】ニュース（東北）
【三六・一〇】ニュース（東北）
【三六・二〇】ニュース（東北）
【三六・三〇】ニュース（東北）
【三六・四〇】ニュース（東北）
【三六・五〇】ニュース（東北）
【三七・〇〇】ニュース（東北）
【三七・一〇】ニュース（東北）
【三七・二〇】ニュース（東北）
【三七・三〇】ニュース（東北）
【三七・四〇】ニュース（東北）
【三七・五〇】ニュース（東北）
【三八・〇〇】ニュース（東北）
【三八・一〇】ニュース（東北）
【三八・二〇】ニュース（東北）
【三八・三〇】ニュース（東北）
【三八・四〇】ニュース（東北）
【三八・五〇】ニュース（東北）
【三九・〇〇】ニュース（東北）
【三九・一〇】ニュース（東北）
【三九・二〇】ニュース（東北）
【三九・三〇】ニュース（東北）
【三九・四〇】ニュース（東北）
【三九・五〇】ニュース（東北）
【四〇・〇〇】ニュース（東北）
【四〇・一〇】ニュース（東北）
【四〇・二〇】ニュース（東北）
【四〇・三〇】ニュース（東北）
【四〇・四〇】ニュース（東北）
【四〇・五〇】ニュース（東北）
【四一・〇〇】ニュース（東北）
【四一・一〇】ニュース（東北）
【四一・二〇】ニュース（東北）
【四一・三〇】ニュース（東北）
【四一・四〇】ニュース（東北）
【四一・五〇】ニュース（東北）
【四二・〇〇】ニュース（東北）
【四二・一〇】ニュース（東北）
【四二・二〇】ニュース（東北）
【四二・三〇】ニュース（東北）
【四二・四〇】ニュース（東北）
【四二・五〇】ニュース（東北）
【四三・〇〇】ニュース（東北）
【四三・一〇】ニュース（東北）
【四三・二〇】ニュース（東北）
【四三・三〇】ニュース（東北）
【四三・四〇】ニュース（東北）
【四三・五〇】ニュース（東北）
【四四・〇〇】ニュース（東北）
【四四・一〇】ニュース（東北）
【四四・二〇】ニュース（東北）
【四四・三〇】ニュース（東北）
【四四・四〇】ニュース（東北）
【四四・五〇】ニュース（東北）
【四五・〇〇】ニュース（東北）
【四五・一〇】ニュース（東北）
【四五・二〇】ニュース（東北）
【四五・三〇】ニュース（東北）
【四五・四〇】ニュース（東北）
【四五・五〇】ニュース（東北）
【四六・〇〇】ニュース（東北）
【四六・一〇】ニュース（東北）
【四六・二〇】ニュース（東北）
【四六・三〇】ニュース（東北）
【四六・四〇】ニュース（東北）
【四六・五〇】ニュース（東北）
【四七・〇〇】ニュース（東北）
【四七・一〇】ニュース（東北）
【四七・二〇】ニュース（東北）
【四七・三〇】ニュース（東北）
【四七・四〇】ニュース（東北）
【四七・五〇】ニュース（東北）
【四八・〇〇】ニュース（東北）
【四八・一〇】ニュース（東北）
【四八・二〇】ニュース（東北）
【四八・三〇】ニュース（東北）
【四八・四〇】ニュース（東北）
【四八・五〇】ニュース（東北）
【四九・〇〇】ニュース（東北）
【四九・一〇】ニュース（東北）
【四九・二〇】ニュース（東北）
【四九・三〇】ニュース（東北）
【四九・四〇】ニュース（東北）
【四九・五〇】ニュース（東北）
【五〇・〇〇】ニュース（東北）
【五〇・一〇】ニュース（東北）
【五〇・二〇】ニュース（東北）
【五〇・三〇】ニュース（東北）
【五〇・四〇】ニュース（東北）
【五〇・五〇】ニュース（東北）
【五一・〇〇】ニュース（東北）
【五一・一〇】ニュース（東北）
【五一・二〇】ニュース（東北）
【五一・三〇】ニュース（東北）
【五一・四〇】ニュース（東北）
【五一・五〇】ニュース（東北）
【五二・〇〇】ニュース（東北）
【五二・一〇】ニュース（東北）
【五二・二〇】ニュース（東北）
【五二・三〇】ニュース（東北）
【五二・四〇】ニュース（東北）
【五二・五〇】ニュース（東北）
【五三・〇〇】ニュース（東北）
【五三・一〇】ニュース（東北）
【五三・二〇】ニュース（東北）
【五三・三〇】ニュース（東北）
【五三・四〇】ニュース（東北）
【五三・五〇】ニュース（東北）
【五四・〇〇】ニュース（東北）
【五四・一〇】ニュース（東北）
【五四・二〇】ニュース（東北）
【五四・三〇】ニュース（東北）
【五四・四〇】ニュース（東北）
【五四・五〇】ニュース（東北）
【五五・〇〇】ニュース（東北）
【五五・一〇】ニュース（東北）
【五五・二〇】ニュース（東北）
【五五・三〇】ニュース（東北）
【五五・四〇】ニュース（東北）
【五五・五〇】ニュース（東北）
【五六・〇〇】ニュース（東北）
【五六・一〇】ニュース（東北）
【五六・二〇】ニュース（東北）
【五六・三〇】ニュース（東北）
【五六・四〇】ニュース（東北）
【五六・五〇】ニュース（東北）
【五七・〇〇】ニュース（東北）
【五七・一〇】ニュース（東北）
【五七・二〇】ニュース（東北）
【五七・三〇】ニュース（東北）
【五七・四〇】ニュース（東北）
【五七・五〇】ニュース（東北）
【五八・〇〇】ニュース（東北）
【五八・一〇】ニュース（東北）
【五八・二〇】ニュース（東北）
【五八・三〇】ニュース（東北）
【五八・四〇】ニュース（東北）
【五八・五〇】ニュース（東北）
【五九・〇〇】ニュース（東北）
【五九・一〇】ニュース（東北）
【五九・二〇】ニュース（東北）
【五九・三〇】ニュース（東北）
【五九・四〇】ニュース（東北）
【五九・五〇】ニュース（東北）
【六〇・〇〇】ニュース（東北）
【六〇・一〇】ニュース（東北）
【六〇・二〇】ニュース（東北）
【六〇・三〇】ニュース（東北）
【六〇・四〇】ニュース（東北）
【六〇・五〇】ニュース（東北）
【六一・〇〇】ニュース（東北）
【六一・一〇】ニュース（東北）
【六一・二〇】ニュース（東北）
【六一・三〇】ニュース（東北）
【六一・四〇】ニュース（東北）
【六一・五〇】ニュース（東北）
【六二・〇〇】ニュース（東北）
【六二・一〇】ニュース（東北）
【六二・二〇】ニュース（東北）
【六二・三〇】ニュース（東北）
【六二・四〇】ニュース（東北）
【六二・五〇】ニュース（東北）
【六三・〇〇】ニュース（東北）
【六三・一〇】ニュース（東北）
【六三・二〇】ニュース（東北）
【六三・三〇】ニュース（東北）
【六三・四〇】ニュース（東北）
【六三・五〇】ニュース（東北）
【六四・〇〇】ニュース（東北）
【六四・一〇】ニュース（東北）
【六四・二〇】ニュース（東北）
【六四・三〇】ニュース（東北）
【六四・四〇】ニュース（東北）
【六四・五〇】ニュース（東北）
【六五・〇〇】ニュース（東北）
【六五・一〇】ニュース（東北）
【六五・二〇】ニュース（東北）
【六五・三〇】ニュース（東北）
【六五・四〇】ニュース（東北）
【六五・五〇】ニュース（東北）
【六六・〇〇】ニュース（東北）
【六六・一〇】ニュース（東北）
【六六・二〇】ニュース（東北）
【六六・三〇】ニュース（東北）
【六六・四〇】ニュース（東北）
【六六・五〇】ニュース（東北）
【六七・〇〇】ニュース（東北）
【六七・一〇】ニュース（東北）
【六七・二〇】ニュース（東北）
【六七・三〇】ニュース（東北）
【六七・四〇】ニュース（東北）
【六七・五〇】ニュース（東北）
【六八・〇〇】ニュース（東北）
【六八・一〇】ニュース（東北）
【六八・二〇】ニュース（東北）
【六八・三〇】ニュース（東北）
【六八・四〇】ニュース（東北）
【六八・五〇】ニュース（東北）
【六九・〇〇】ニュース（東北）
【六九・一〇】ニュース（東北）
【六九・二〇】ニュース（東北）
【六九・三〇】ニュース（東北）
【六九・四〇】ニュース（東北）
【六九・五〇】ニュース（東北）
【七〇・〇〇】ニュース（東北）
【七〇・一〇】ニュース（東北）
【七〇・二〇】ニュース（東北）
【七〇・三〇】ニュース（東北）
【七〇・四〇】ニュース（東北）
【七〇・五〇】ニュース（東北）
【七一・〇〇】ニュース（東北）
【七一・一〇】ニュース（東北）
【七一・二〇】ニュース（東北）
【七一・三〇】ニュース（東北）
【七一・四〇】ニュース（東北）
【七一・五〇】ニュース（東北）
【七二・〇〇】ニュース（東北）
【七二・一〇】ニュース（東北）
【七二・二〇】ニュース（東北）
【七二・三〇】ニュース（東北）
【七二・四〇】ニュース（東北）
【七二・五〇】ニュース（東北）
【七三・〇〇】ニュース（東北）
【七三・一〇】ニュース（東北）
【七三・二〇】ニュース（東北）
【七三・三〇】ニュース（東北）
【七三・四〇】ニュース（東北）
【七三・五〇】ニュース（東北）
【七四・〇〇】ニュース（東北）
【七四・一〇】ニュース（東北）
【七四・二〇】ニュース（東北）
【七四・三〇】ニュース（東北）
【七四・四〇】ニュース（東北）
【七四・五〇】ニュース（東北）
【七五・〇〇】ニュース（東北）
【七五・一〇】ニュース（東北）
【七五・二〇】ニュース（東北）
【七五・三〇】ニュース（東北）
【七五・四〇】ニュース（東北）
【七五・五〇】ニュース（東北）
【七六・〇〇】ニュース（東北）
【七六・一〇】ニュース（東北）
【七六・二〇】ニュース（東北）
【七六・三〇】ニュース（東北）
【七六・四〇】ニュース（東北）
【七六・五〇】ニュース（東北）
【七七・〇〇】ニュース（東北）
【七七・一〇】ニュース（東北）
【七七・二〇】ニュース（東北）
【七七・三〇】ニュース（東北）
【七七・四〇】ニュース（東北）
【七七・五〇】ニュース（東北）
【七八・〇〇】ニュース（東北）
【七八・一〇】ニュース（東北）
【七八・二〇】ニュース（東北）
【七八・三〇】ニュース（東北）
【七八・四〇】ニュース（東北）
【七八・五〇】ニュース（東北）
【七九・〇〇】ニュース（東北）
【七九・一〇】ニュース（東北）
【七九・二〇】ニュース（東北）
【七九・三〇】ニュース（東北）
【七九・四〇】ニュース（東北）
【七九・五〇】ニュース（東北）
【八〇・〇〇】ニュース（東北）
【八〇・一〇】ニュース（東北）
【八〇・二〇】ニュース（東北）
【八〇・三〇】ニュース（東北）
【八〇・四〇】ニュース（東北）
【八〇・五〇】ニュース（東北）
【八一・〇〇】ニュース（東北）
【八一・一〇】ニュース（東北）
【八一・二〇】ニュース（東北）
【八一・三〇】ニュース（東北）
【八一・四〇】ニュース（東北）
【八一・五〇】ニュース（東北）
【八二・〇〇】ニュース（東北）
【八二・一〇】ニュース（東北）
【八二・二〇】ニュース（東北）
【八二・三〇】ニュース（東北）
【八二・四〇】ニュース（東北）
【八二・五〇】ニュース（東北）
【八三・〇〇】ニュース（東北）
【八三・一〇】ニュース（東北）
【八三・二〇】ニュース（東北）
【八三・三〇】ニュース（東北）
【八三・四〇】ニュース（東北）
【八三・五〇】ニュース（東北）
【八四・〇〇】ニュース（東北）
【八四・一〇】ニュース（東北）
【八四・二〇】ニュース（東北）
【八四・三〇】ニュース（東北）
【八四・四〇】ニュース（東北）
【八四・五〇】ニュース（東北）
【八五・〇〇】ニュース（東北）
【八五・一〇】ニュース（東北）
【八五・二〇】ニュース（東北）
【八五・三〇】ニュース（東北）
【八五・四〇】ニュース（東北）
【八五・五〇】ニュース（東北）
【八六・〇〇】ニュース（東北）
【八六・一〇】ニュース（東北）
【八六・二〇】ニュース（東北）
【八六・三〇】ニュース（東北）
【八六・四〇】ニュース（東北）
【八六・五〇】ニュース（東北）
【八七・〇〇】ニュース（東北）
【八七・一〇】ニュース（東北）
【八七・二〇】ニュース（東北）
【八七・三〇】ニュース（東北）
【八七・四〇】ニュース（東北）
【八七・五〇】ニュース（東北）
【八八・〇〇】ニュース（東北）
【八八・一〇】ニュース（東北）
【八八・二〇】ニュース（東北）
【八八・三〇】ニュース（東北）
【八八・四〇】ニュース（東北）
【八八・五〇】ニュース（東北）
【八九・〇〇】ニュース（東北）
【八九・一〇】ニュース（東北）
【八九・二〇】ニュース（東北）
【八九・三〇】ニュース（東北）
【八九・四〇】ニュース（東北）
【八九・五〇】ニュース（東北）
【九〇・〇〇】ニュース（東北）
【九〇・一〇】ニュース（東北）
【九〇・二〇】ニュース（東北）
【九〇・三〇】ニュース（東北）
【九〇・四〇】ニュース（東北）
【九〇・五〇】ニュース（東北）
【九一・〇〇】ニュース（東北）
【九一・一〇】ニュース（東北）
【九一・二〇】ニュース（東北）
【九一・三〇】ニュース（東北）
【九一・四〇】ニュース（東北）
【九一・五〇】ニュース（東北）
【九二・〇〇】ニュース（東北）
【九二・一〇】ニュース（東北）
【九二・二〇】ニュース（東北）
【九二・三〇】ニュース（東北）
【九二・四〇】ニュース（東北）
【九二・五〇】ニュース（東北）
【九三・〇〇】ニュース（東北）
【九三・一〇】ニュース（東北）
【九三・二〇】ニュース（東北）
【九三・三〇】ニュース（東北）
【九三・四〇】ニュース（東北）
【九三・五〇】ニュース（東北）
【九四・〇〇】ニュース（東北）
【九四・一〇】ニュース（東北）
【九四・二〇】ニュース（東北）
【九四・三〇】ニュース（東北）
【九四・四〇】ニュース（東北）
【九四・五〇】ニュース（東北）
【九五・〇〇】ニュース（東北）
【九五・一〇】ニュース（東北）
【九五・二〇】ニュース（東北）
【九五・三〇】ニュース（東北）
【九五・四〇】ニュース（東北）
【九五・五〇】ニュース（東北）
【九六・〇〇】ニュース（東北）
【九六・一〇】ニュース（東北）
【九六・二〇】ニュース（東北）
【九六・三〇】ニュース（東北）
【九六・四〇】ニュース（東北）
【九六・五〇】ニュース（東北）
【九七・〇〇】ニュース（東北）
【九七・一〇】ニュース（東北）
【九七・二〇】ニュース（東北）
【九七・三〇】ニュース（東北）
【九七・四〇】ニュース（東北）
【九七・五〇】ニュース（東北）
【九八・〇〇】ニュース（東北）
【九八・一〇】ニュース（東北）
【九八・二〇】ニュース（東北）
【九八・三〇】ニュース（東北）
【九八・四〇】ニュース（東北）
【九八・五〇】ニュース（東北）
【九九・〇〇】ニュース（東北）
【九九・一〇】ニュース（東北）
【九九・二〇】ニュース（東北）
【九九・三〇】ニュース（東北）
【九九・四〇】ニュース（東北）
【九九・五〇】ニュース（東北）
【一〇〇・〇〇】ニュース（東北）
【一〇〇・一〇】ニュース（東北）
【一〇〇・二〇】ニュース（東北）
【一〇〇・三〇】ニュース（東北）
【一〇〇・四〇】ニュース（東北）
【一〇〇・五〇】ニュース（東北）
【一〇一・〇〇】ニュース（東北）
【一〇一・一〇】ニュース（東北）
【一〇一・二〇】ニュース（東北）
【一〇一・三〇】ニュース（東北）
【一〇一・四〇】ニュース（東北）
【一〇一・五〇】ニュース（東北）
【一〇二・〇〇】ニュース（東北）
【一〇二・一〇】ニュース（東北）
【一〇二・二〇】ニュース（東北）
【一〇二・三〇】ニュース（東北）
【一〇二・四〇】ニュース（東北）
【一〇二・五〇】ニュース（東北）
【一〇三・〇〇】ニュース（東北）
【一〇三・一〇】ニュース（東北）
【一〇三・二〇】ニュース（東北）
【一〇三・三〇】ニュース（東北）
【一〇三・四〇】ニュース（東北）
【一〇三・五〇】ニュース（東北）
【一〇四・〇〇】ニュース（東北）
【一〇四・一〇】ニュース（東北）
【一〇四・二〇】ニュース（東北）
【一〇四・三〇】ニュース（東北）
【一〇四・四〇】ニュース（東北）
【一〇四・五〇】ニュース（東北）
【一〇五・〇〇】ニュース（東北）
【一〇五・一〇】ニュース（東北）
【一〇五・二〇】ニュース（東北）
【一〇五・三〇】ニュース（東北）
【一〇五・四〇】ニュース（東北）
【一〇五・五〇】ニュース（東北）
【一〇六・〇〇】ニュース（東北）
【一〇六・一〇】ニュース（東北）
【一〇六・二〇】ニュース（東北）
【一〇六・三〇】ニュース（東北）
【一〇六・四〇】ニュース（東北）
【一〇六・五〇】ニュース（東北）
【一〇七・〇〇】ニュース（東北）
【一〇七・一〇】ニュース（東北）
【一〇七・二〇】ニュース（東北）
【一〇七・三〇】ニュース（東北）
【一〇七・四〇】ニュース（東北）
【一〇七・五〇】ニュース（東北）
【一〇八・〇〇】ニュース（東北）
【一〇八・一〇】ニュース（東北）
【一〇八・二〇】ニュース（東北）
【一〇八・三〇】ニュース（東北）
【一〇八・四〇】ニュース（東北）
【一〇八・五〇】ニュース（東北）
【一〇九・〇〇】ニュース（東北）
【一〇九・一〇】ニュース（東北）
【一〇九・二〇】ニュース（東北）
【一〇九・三〇】ニュース（東北）
【一〇九・四〇】ニュース（東北）
【一〇九・五〇】ニュース（東北）
【一一〇・〇〇】ニュース（東北）
【一一〇・一〇】ニュース（東北）
【一一〇・二〇】ニュース（東北）
【一一〇・三〇】ニュース（東北）
【一一〇・四〇】ニュース（東北）
【一一〇・五〇】ニュース（東北）
【一一一・〇〇】ニュース（東北）
【一一一・一〇】ニュース（東北）
【一一一・二〇】ニュース（東北）
【一一一・三〇】ニュース（東北）
【一一一・四〇】ニュース（東北）
【一一一・五〇】ニュース（東北）
【一一二・〇〇】ニュース（東北）
【一一二・一〇】ニュース（東北）
【一一二・二〇】ニュース（東北）
【一一二・三〇】ニュース（東北）
【一一二・四〇】ニュース（東北）
【一一二・五〇】ニュース（東北）
【一一三・〇〇】ニュース（東北）
【一一三・一〇】ニュース（東北）
【一一三・二〇】ニュース（東北）
【一一三・三〇】ニュース（東北）
【一一三・四〇】ニュース（東北）
【一一三・五〇】ニュース（東北）
【一一四・〇〇】ニュース（東北）
【一一四・一〇】ニュース（東北）
【一一四・二〇】ニュース（東北）
【一一四・三〇】ニュース（東北）
【一一四・四〇】ニュース（東北）
【一一四・五〇】ニュース（東北）
【一一五・〇〇】ニュース（東北）
【一一五・一〇】ニュース（東北）
【一一五・二〇】ニュース（東北）
【一一五・三〇】ニュース（東北）
【一一五・四〇】ニュース（東北）
【一一五・五〇】ニュース（東北）
【一一六・〇〇】ニュース（東北）
【一一六・一〇】ニュース（東北）
【一一六・二〇】ニュース（東北）
【一一六・三〇】ニュース（東北）
【一一六・四〇】ニュース（東北）
【一一六・五〇】ニュース（東北）
【一一七・〇〇】ニュース（東北）
【一一七・一〇】ニュース（東北）
【一一七・二〇】ニュース（東北）
【一一七・三〇】ニュース（東北）
【一一七・四〇】ニュース（東北）
【一一七・五〇】ニュース（東北）
【一一八・〇〇】ニュース（東北）
【一一八・一〇】ニュース（東北）
【一一八・二〇】ニュース（東北）
【一一八・三〇】ニュース（東北）
【一一八・四〇】ニュース（東北）
【一一八・五〇】ニュース（東北）
【一一九・〇〇】ニュース（東北）
【一一九・一〇】ニュース（東北）
【一一九・二〇】ニュース（東北）
【一一九・三〇】ニュース（東北）
【一一九・四〇】ニュース（東北）
【一一九・五〇】ニュース（東北）
【一二〇・〇〇】ニュース（東北）
【一二〇・一〇】ニュース（東北）
【一二〇・二〇】ニュース（東北）
【一二〇・三〇】ニュース（東北）
【一二〇・四〇】ニュース（東北）
【一二〇・五〇】ニュース（東北）
【一二一・〇〇】ニュース（東北）
【一二一・一〇】ニュース（東北）
【一二一・二〇】ニュース（東北）
【一二一・三〇】ニュース（東北）
【一二一・四〇】ニュース（東北）
【一二一・五〇】ニュース（東北）
【一二二・〇〇】ニュース（東北）
【一二二・一〇】ニュース（東北）
【一二二・二〇】ニュース（東北）
【一二二・三〇】ニュース（東北）
【一二二・四〇】ニュース（東北）
【一二二・五〇】ニュース（東北）
【一二三・〇〇】ニュース（東北）
【一二三・一〇】ニュース（東北）
【一二三・二〇】ニュース（東北）
【一二三・三〇】ニュース（東北）
【一二三・四〇】ニュース（東北）
【一二三・五〇】ニュース（東北）
【一二四・〇〇】ニュース（東北）
【一二四・一〇】ニュース（東北）
【一二四・二〇】ニュース（東北）
【一二四・三〇】ニュース（東北）
【一二四・四〇】ニュース（東北）
【一二四・五〇】ニュース（東北）
【一二五・〇〇】ニュース（東北）
【一二五・一〇】ニュース（東北）
【一二五・二〇】ニュース（東北）
【一二五・三〇】ニュース（東北）
【一二五・四〇】ニュース（東北）
【一二五・五〇】ニュース（東北）
【一二六・〇〇】ニュース（東北）
【一二六・一〇】ニュース（東北）
【一二六・二〇】ニュース（東北）
【一二六・三〇】ニュース（東北）
【一二六・四〇】ニュース（東北）
【一二六・五〇】ニュース（東北）
【一二七・〇〇】ニュース（東北）
【一二七・一〇】ニュース（東北）
【一二七・二〇】ニュース（東北）
【一二七・三〇】ニュース（東北）
【一二七・四〇】ニュース（東北）
【一二

（第三種郵便物認可）　昭和十四年八月三十日（水曜日）　臺灣日日新報　A　（五）　一万四千一百七十三號

候補生の半舷上陸で 市内は海軍一色

夜は軍樂隊演奏會

【馬公二十九日發】練習艦隊では二十九、三十の兩日各兵員に對して半舷上陸を許される事となつたので馬公街には二十九日朝から陸兵員の上陸より馬公全市は海軍色に塗りつぶされてゐるが併しここにも特産の鰹漁振りが見られ、艦隊司令部の發表内所、郵便局休憩所その他何れも滿員の盛況で總物的賑ぐましい森住の感が感じされてゐる。午後七時から松島公園で地方官民のために軍艦の演奏もあり盛況であつた。尚三十日は午前八時から午後六時まで馬公街公會堂で開かれた

傷病兵慰問音樂會

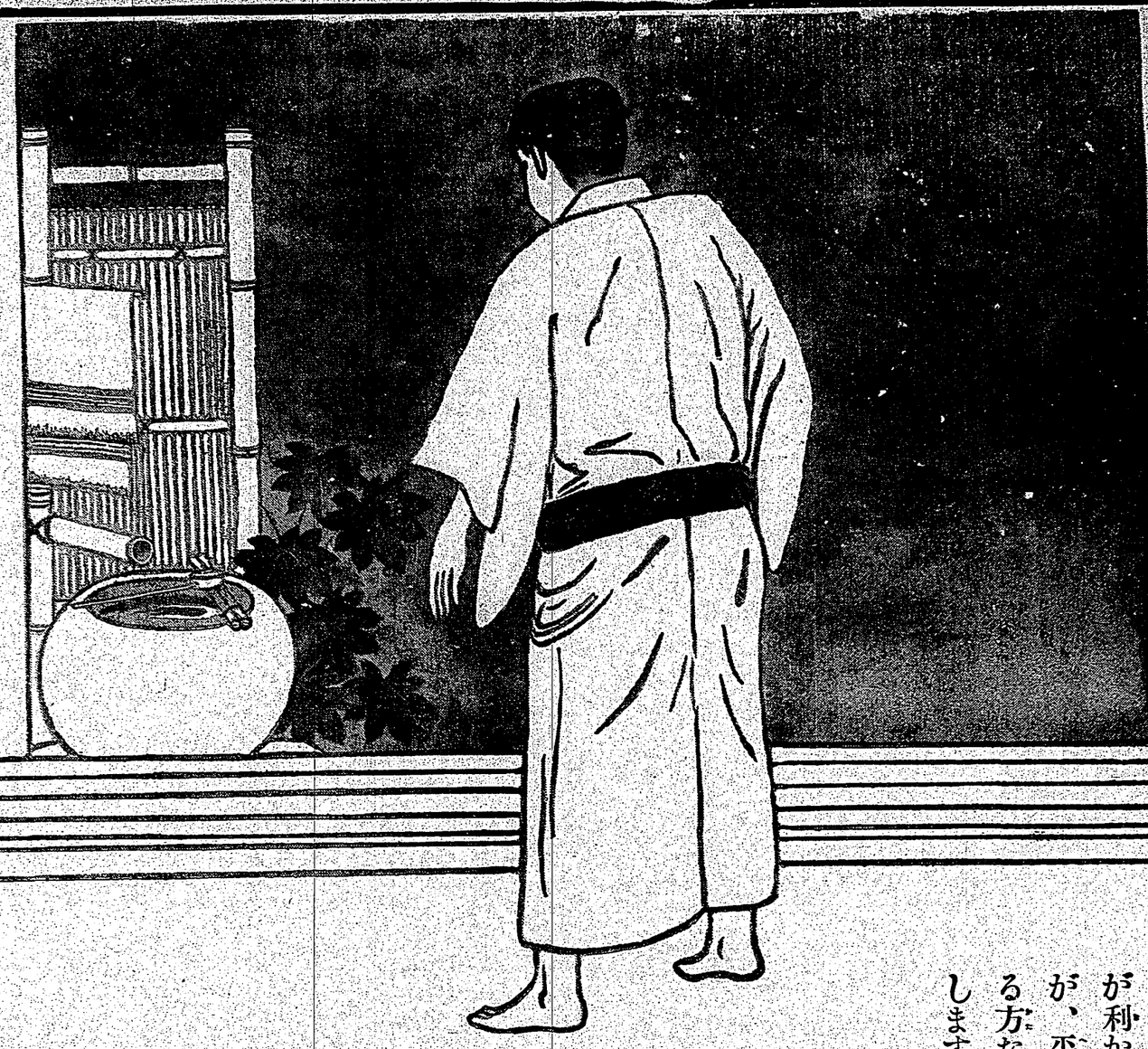
【馬公電話】練習艦隊軍樂隊では二十九日午後一時より市營球場に於て傷病兵慰問音樂會を開催する事となつた

短期現役兵慰問

【台南電話】鹽內務局長を始め州市教育課長、視學その他代表小學校長二行十二名は二十九日臨時現役兵の慰問をなしたが隊側よりも岡本師團長を始め師團十六名出席、公學校長、醫務係將校、軍樂隊、消防組等參集をもとめ、市營球場に於て慰問すべく後で兒童、青年團員六十餘名が唱歌、軍樂、ブラスバンド等を總動中の所二十日午前十時より〇〇時〇〇分、院に於て催物を催つた

屏東市奉公日行事

【屏東電話】屏東市では二十八日午後一時より市營球場に於て全市女小學校兒童の參集をもとめ、市役所、州廳、各官街出張所、警察官吏、各學校長、團體長、消防組、青年團員六十名出席、公學校長、團體長代表の挨拶を始め師團十六名出席、公學校長、團體長代表の挨拶を始め師團十六名出席、公學校長、團體長代表の挨拶を始め師團十六



夏の胃腸病にはアイフ

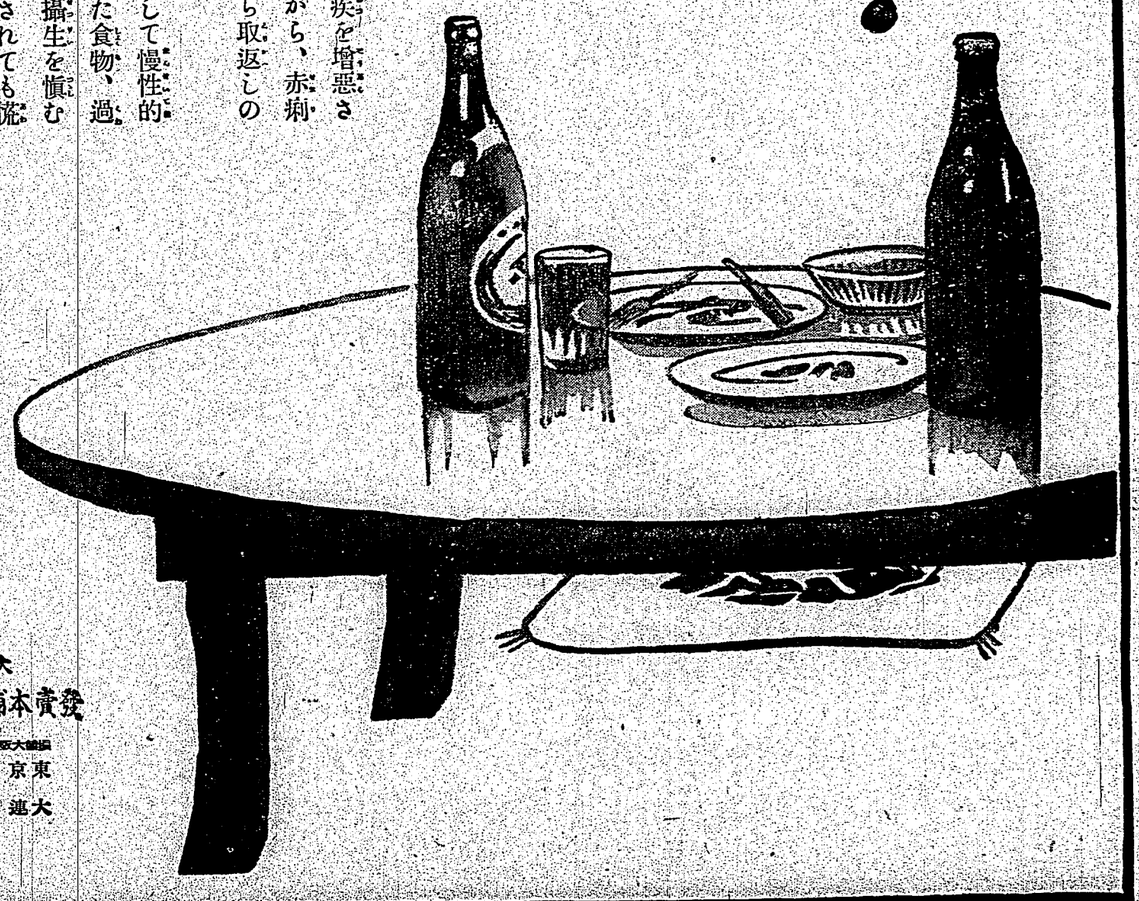
とかく胃腸をこはし易い夏！

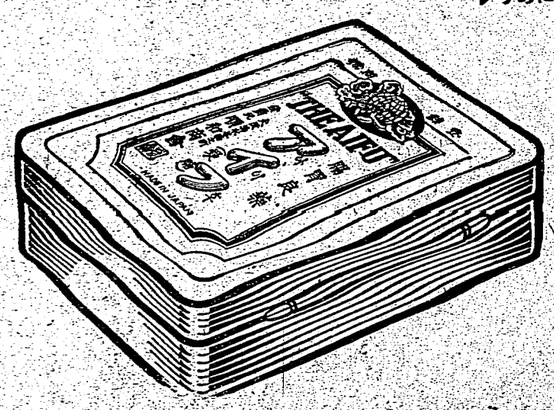
胃腸の機能が極度に衰へる夏は、健康な人でも無理が利かず、ことかく胃腸障害を起し易いものでありますが、平素から餘り胃腸の丈夫でない方や慢性症状のある方などは食慾不振から榮養が衰へ、目立つて夏痩せしますから特にこの季節の攝生が大切であります。

暑いからと云つて、望みのまゝに氷や果物、ビール、サイダー、アイスクリーム……などゝ無闇に冷たいものを詰め込めば、それこそてきめん下痢、腹痛に惱まされ、求めて痼疾を増惡させるやうなものであります。衰弱が加はれば抵抗力も鈍りますから、赤痢やコレラ、腸チブス等の傳染病にも冒され易く、僅かな油斷から取返しのつかぬ不幸を見ないとも限りません。

それでかうした胃腸の危險期には、まづ治療藥**アイフ**を服用して慢性的な胃腸病の治療に努めると共に、暴飲暴食、不消化物、腐敗した食物、過冷の飲食物、寢冷え等、急性胃腸カタルの原因となるやうな不攝生を愼むことが何より大切であります。又、たとひ急性胃腸カタルに冒されても慌てることなく治療し得るやう、治療藥**アイフ**だけは常備してゐて惡疫の侵入を未然に防ぐのが夏の衞生常識でなくてはなりません。

治療藥**アイフ**には病源、對症二重に働く作用があり、主藥が胃腸病變部に沈着して炎症を癒やし、粘膜を強め、弛緩を引緊め、分泌や蠕動機能の異常を整へると共に、腸管内の有毒物質を吸着して體外に排出する等、廣汎な病源治療を營み、併せて胸やけ、噯氣、嘔つき、胃痛、下痢、嘔吐、消化不良、食慾不振等の諸症狀をも消退して機能の恢復を速めますから夏の急性症はもちろん、症狀の複雑、執拗な慢性的な胃腸病にも打つてつけの治療藥として賞用せられます。





藥價	
四八錠	金壹圓
十六錠	金參拾錢
十錠	金貳拾錢
五十錠	金壹圓

▶全國到る所の有名藥店にあり◀

發賣本舖　大阪市東區清水谷西之町　順和商會

東京連絡　東京市本郷區弥生町九番地　電話小石川(88)〇一〇四番　電報東京六二八二番
大連連絡　大連市山縣通三七五番地　電話七六〇八番　電報大連三四三番

喜びの新閣僚たち

極めて人情に厚く 近代的武將の典型

新陸相畑大將の横顏

【東京二十九日發同盟】寺内陸相は俊大將に就ては偉りにも有名である、昨年五月陸軍次官に親補に際会を浴びて中支派遣軍司令官に親補し、上海戰線に赴任したが、同年十二月内大臣兼侍従長に親補せられ、宮中に入るや、常に陛下の御側近くに侍して、御信任の厚かつた大將が、再び一年余内大臣の要職を去つて、現役に復帰したのは、全く時局の重大性に鑑みられたものであらう、本年六十一歳、東北の産、陸士十一期、陸大卒業、今は亡き英本國大將の出身、今は亡き英本國大將と共に、日露戰役に従軍、その後、ドイツ駐在武官、軍務局軍事課長、歩兵第一旅團長、第一師團長、參謀次長、教育總監、軍事參議官等を經て、昭和八年大將に進級、同年十月から十一年八月まで、約二年間、陸軍大臣の重職にあつた、

細かで 大將お中支方面 情操を 持つ武將 畑大將の横顏

【東京二十九日發同盟】寺内陸相も亦有名な話である、寺内將の兄壽一元帥陸軍大將の第一師團長、參謀次長、教育總監、軍事參議官等を經て、昭和八年大將に進級、同年十月から十一年八月まで、約二年間、陸軍大臣の重職にあつた、

小公學校教員、青年團
陸上競技番組決る
排球試合の時間割も決定

小公學校教員團上競技及排球大會青年團の競技は既報の如く來る九月九、十の兩日帝大運動場に於て行はれ既に各班に於ては出場代表の選擇を行つてゐるが大會當日の競技順序及時間割左の通り決定した

▲第一日
午前八時半　精錬選手集合
九時　第一試合開始（第一次戰）
十時　第二試合開始（準決勝）
十二時　第三試合開始（決勝）
午後一時半　全選手役員集合
二時　開會式ラヂオ體操（ラヂオ體操は青年團のみ）
（一）教員男　百米疾走　一時三〇分
教員男　百米疾走　一時四〇分
教員女　百米疾走　一時五〇分
青年男　百米疾走　二時〇〇分
青年男　百米疾走　二時一〇分
教員女　千五米疾走　二時二〇分
教員男　百米疾走　二時三〇分
青年男　障礙競走　二時四〇分
（二）教員男　百米疾走　一時三〇分
教員男　百米疾走　一時四〇分
教員女　百米疾走　一時五〇分
青年男　百米疾走　二時〇〇分
青年男　百米疾走　二時一〇分
教員女　千五米疾走　二時二〇分
教員男　百米疾走　二時三〇分
青年男　障礙競走　二時四〇分
（三）教員男　百米疾走　一時三〇分
教員男　百米疾走　一時四〇分
教員女　百米疾走　一時五〇分
青年男　百米疾走　二時〇〇分
青年男　百米疾走　二時一〇分
教員女　千五米疾走　二時二〇分
教員男　百米疾走　二時三〇分
青年男　障礙競走　二時四〇分
教員女　百米疾走　二時五〇分
教員男　百米疾走　三時〇〇分
青年男　百米疾走　三時一〇分
教員女　障礙競走　三時二〇分
教員男　百米疾走　三時三〇分
青年男　障礙競走　三時四〇分
教員女　百米疾走　三時五〇分
教員男　百米疾走　四時〇〇分
青年男　百米疾走　四時一〇分
教員男　四百米疾走　四時二〇分
教員男　四百米疾走　四時三〇分
青年男　四百米疾走　四時四〇分
教員女　四百米疾走　四時五〇分
教員男　四百米疾走　五時〇〇分
青年男　四百米疾走　五時一〇分
教員女　四百米疾走　五時二〇分
教員男　五千米疾走　五時三〇分
青年男　五千米疾走　五時四〇分
教員女　二百米疾走　五時五〇分
教員男　四百米疾走　六時〇〇分
青年男　四百米疾走　六時一〇分
教員男　四百米疾走　六時二〇分
教員男　四百米疾走　六時三〇分
青年男　四百米疾走　六時四〇分
教員女　四百米疾走　六時五〇分
教員男　百米疾走　七時〇〇分
青年男　百米疾走　七時一〇分
教員男　百米疾走　七時二〇分
教員男　百米疾走　七時三〇分
青年男　百米疾走　七時四〇分
教員女　百米疾走　七時五〇分
教員男　百米疾走　八時〇〇分
青年男　百米疾走　八時一〇分
教員男　百米疾走　八時二〇分
教員男　百米疾走　八時三〇分
青年男　百米疾走　八時四〇分
教員女　百米疾走　八時五〇分
教員男　百米疾走　九時〇〇分
青年男　百米疾走　九時一〇分
教員男　百米疾走　九時二〇分
教員男　百米疾走　九時三〇分
青年男　百米疾走　九時四〇分
教員女　百米疾走　九時五〇分
【排球】
教員男　決勝　一時〇〇分
教員女　排球決勝　一時一〇分
教員男　排球決勝　一時二〇分
青年男　排球決勝　一時三〇分
教員男　排球決勝　一時四〇分
教員男　排球決勝　一時五〇分
青年男　排球決勝　二時〇〇分
教員男　排球決勝　二時一〇分
教員男　排球決勝　二時二〇分
青年男　排球決勝　二時三〇分
教員男　排球決勝　二時四〇分
教員男　排球決勝　二時五〇分
青年男　排球決勝　三時〇〇分
教員男　排球決勝　三時一〇分
教員男　排球決勝　三時二〇分
青年男　排球決勝　三時三〇分
教員男　排球決勝　三時四〇分
教員男　排球決勝　三時五〇分
青年男　排球決勝　四時〇〇分
教員男　排球決勝　四時一〇分
教員男　排球決勝　四時二〇分
青年男　排球決勝　四時三〇分
教員男　排球決勝　四時四〇分
教員男　排球決勝　四時五〇分
青年男　排球決勝　五時〇〇分
教員男　排球決勝　五時一〇分
教員男　排球決勝　五時二〇分
青年男　排球決勝　五時三〇分
教員男　排球決勝　五時四〇分
教員男　排球決勝　五時五〇分
青年男　排球決勝　六時〇〇分
教員男　排球決勝　六時一〇分
教員男　排球決勝　六時二〇分
青年男　排球決勝　六時三〇分
教員男　排球決勝　六時四〇分
教員男　排球決勝　六時五〇分
青年男　排球決勝　七時〇〇分
教員男　排球決勝　七時一〇分
教員男　排球決勝　七時二〇分
青年男　排球決勝　七時三〇分
教員男　排球決勝　七時四〇分
教員男　排球決勝　七時五〇分
青年男　排球決勝　八時〇〇分
教員男　排球決勝　八時一〇分
教員男　排球決勝　八時二〇分
青年男　排球決勝　八時三〇分
教員男　排球決勝　八時四〇分
教員男　排球決勝　八時五〇分
青年男　排球決勝　九時〇〇分
教員男　排球決勝　九時一〇分
教員男　排球決勝　九時二〇分
青年男　排球決勝　九時三〇分
教員男　排球決勝　九時四〇分
教員男　排球決勝　九時五〇分
青年男　排球決勝　十時〇〇分
教員男　排球決勝　十時一〇分
教員男　排球決勝　十時二〇分
青年男　排球決勝　十時三〇分
教員男　排球決勝　十時四〇分
教員男　排球決勝　十時五〇分
青年男　排球決勝　十一時〇〇分
教員男　排球決勝　十一時一〇分
教員男　排球決勝　十一時二〇分
青年男　排球決勝　十一時三〇分
教員男　排球決勝　十一時四〇分
教員男　排球決勝　十一時五〇分
青年男　排球決勝　十二時〇〇分
教員男　排球決勝　十二時一〇分
教員男　排球決勝　十二時二〇分
青年男　排球決勝　十二時三〇分
教員男　排球決勝　十二時四〇分
教員男　排球決勝　十二時五〇分
青年男　排球決勝　一時〇〇分
教員男